

医療情報の研究利用について

研究の課題名	非剛体位置合わせを用いた大腸がん術前支援画像作成の検討
研究の責任者(当院)	放射線部 大家佑介
研究の対象者	当院で大腸CTを行った患者
研究の目的	大腸がん手術支援画像は、動脈相と門脈相を融合して作成するため、多時相間の呼吸や腸管蠕動などによるミスレジストレーションが課題となる。本研究はミスレジストレーションの低減を目的として、CT装置搭載の非剛体位置合わせ(deformable image registration : DIR)の活用を検討した。
調査対象データ該当期間	2023年1月から2026年3月
研究の方法 (使用する情報・試料)	大腸がん手術支援画像作成を目的に行った大腸CT検査50例に対して、門脈相を基準画像として動脈相にDIRを行い、DIR前後の動脈相と門脈相との位置ずれを計測した。また、DIR前後でのVR画像を作成し、位置ずれを補正できた
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	代表電話：0134-24-0325 倫理委員会事務局
備考	研究に同意しないこと又は同意を撤回することによって不利益な取扱いを受けることはありません。 個人の情報として今までの検査結果を開示することは可能です。請求人は原則的に協力者本人とし、本人以外からの請求の場合本人直筆の委任状が必要になります。開示を希望する場合、上記の問合せ先までご連絡ください。

